開 会 (午後 2 時 00 分) 職務代理者の号令による起立・礼

事務局長 それでは定刻になりましたので、ただ今から令和 4 年第 3 回宇城市農業委員会総会を開会致します。本日の農業委員会総会への出席は、農業委員総数 13 名全員出席でございますので、農業委員会等に関する法律第 27 条第 3 項及び宇城市農業委員会会議規則第 7 条の規定に基づき、総会が成立しております。

開会にあたりまして、会長にご挨拶申し上げます。

会 長 皆さんこんにちは。ロシア軍がウクライナに侵攻し、戦争状態になっているという報道がなされて、大変な状態になっているようです。私たち農家にもガソリン価格の急騰や農業用資材で大変な時ですので、皆さん頑張ってくださいと思います。また、新型コロナウイルスが熊本県においてもまん延防止等重点措置がずっと出ていますので、農業委員の皆様には大変ご苦労かけますけれど、農業委員だけの総会にさせていただきます。これからも三密を避け、マスク着用で感染防止に努めていただきたいと思います。それでは会議に入ります。

これより令和 4 年第 3 回宇城市農業委員会総会を開催致します。

議 長 それでは議事に入ります前に議案書の訂正がありますので、事務局より説明をお願い致します。事務局。

事務局 議案の説明に入ります前に議案書の訂正を 3 点お願い致します。

まず 1 点目です。議案書 6 ページの申請番号 3-4 の〇〇〇〇-〇の農振欄が「農振農用地」となっておりますが、「農振地域」の誤りです。「農振地域」へ修正お願い致します。

次に 2 点目です。議案書 11 ページの申請番号 3-12 の面積が〇〇〇㎡となっておりますが、△△△㎡の誤りです。それに伴いまして、その下段の集計欄も田 1 筆、△△△㎡へ修正をお願い致します。

最後の 3 点目になります。議案書 16 ページの申請番号 3-9 の借人の経営面積が記載されておりますが、現在の経営面積は 0 となりますので記載しております数値を全て削除いただきますようお願い致します。

訂正につきましては、以上でございます。お詫びして、訂正させていただきます。

議 長 日程第 1、議事録署名委員の指名を行います。

署名委員は、会議規則第 15 条第 2 項の規定により、6 番 本郷委員、7 番 本崎委員を指名致します。

議 長

日程第 2、会期の決定を議題とし、お諮り致します。

本総会の会期は、本日 1 日と決定したいと思いますが、ご異議のない方の挙手を求めます。

(委員挙手)

議 長

全員挙手です。よって本総会の会期は、本日 1 日と決定されました。

議 長

日程第 3、議案第 10 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」を上程し、議題と致します。

議案第 10 号について、事務局より提案理由の説明を求めます。事務局。

事務局

議案の 2 ページをお願いします。

議案第 10 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について次のとおり、許可申請があったので審議を求めます。

令和 4 年 3 月 10 日提出 宇城市農業委員会会長 中山秀光

農地法第 3 条の規定による許可申請について、農地法関係事務処理要領の第 1 の 2 の (1) の規定により、意見を決定するため審議を求めます。以上です。

議 長

それでは、各委員から案件について説明及び現地調査報告をお願いします。調査報告にあたっては、省略することなく他の委員にも状況が解るように説明をお願いします。

申請番号 1 番及び 2 番は、	三角 2 上村祐二委員に代わりまして、2 番 田口委員より
申請番号 3 番は、	不知火 1 中林委員に代わりまして、5 番 澤村委員より
申請番号 4 番は、	6 番 本郷委員より
申請番号 5 番は、	11 番 吉田委員より
申請番号 6 番は、	9 番 川村委員より
申請番号 7 番及び 8 番は、	豊野 2 川端委員に代わりまして、12 番 城塚委員より
申請番号 9 番及び 10 番は、	豊野 1 小田委員に代わりまして、13 番 本田委員より

それぞれ説明を求めます。

田口委員

申請番号 1 番・2 番は受人が同じですので、一緒に説明させていただきます。内容につきましては記載のとおりでございます。申請理由は経営規模拡大による売買でございます。受人は家族 4 人、雇用人 20 人を持ちまして、蘭を栽培されております。〇〇の△△△にも加入しておられます。申請地におきましては、取得後においても効率良く利用され、地

域の調和要件にも問題はないと思われまますので許可は可能だと思われまます。ご審議よろしくお願ひ致しまます。

澤村委員

申請番号 3 番についてご説明致しまます。詳細は記載のとおりです。親から子どもさんへの贈与ということで、申請が上がっています。問題はないと思われまますので、ご審議よろしくお願ひしまます。

本郷委員

申請番号 4 番について説明致しまます。詳細は記載のとおりです。譲受人は現在、〇〇〇に住んでおられままして、△△△の方で会社の経営をされておられます。△△△の方で自作地を〇反ほど作られておられままして、今回〇〇〇に農地の買受をするというであります。今回、こちらの農地に関しましては、基盤整備の区域に入っておりますので、将来的には換地されて、面の整備をされる予定であります。地元には譲受人の奥様の実家もあり、専業農家をされておられますので、将来的には農地の管理並びに活用も大丈夫ということをおっしゃっていました。何ら問題ないかと思ひまます。よろしくお願ひ致しまます。

吉田委員

申請番号 5 番について説明を致しまます。この農地は長年荒れておられままして、去年〇〇区が耕作されままして、買手が見つかりましたので、何ら問題ないかと思ひまます。若干値段が安いと思ひまますけれど、譲渡人と譲受人の話し合ひで決まっておりますので、ご理解をよろしくお願ひ致しまます。以上です。

川村委員

申請番号 6 番について説明致しまます。詳細は記載のとおりです。申請理由としまましては贈与となっております。申請者お二人は親子関係にあり、現在も譲受人の方が耕作をされておられます。取得後も何ら問題ないと思われまますので、審議よろしくお願ひしまます。以上です。

城塚委員

申請番号 7 番と 8 番については、譲受人が同一ですので同時に説明致しまます。詳細は記載のとおりです。申請理由は経営規模拡大による売買です。取得後においても効率的に利用すると認められることから、許可は可能と思われまます。審議方よろしくお願ひしまます。

本田委員

申請番号 9 番と 10 番について説明しまます。詳細は記載のとおりです。申請理由は贈与になります。譲渡人と譲受人は親子の関係になります。3要件とも満たしてあり許可は可能と思われまます。審議方よろしくお願ひ致しまます。

議 長 只今、申請番号1番から10番につきまして、各委員よりそれぞれ説明がりましたが、案件について何か質問、ご意見はありませんか。発言がある方は挙手の後、指名を受けて、起立をして発言をお願いします。

議 長 何か質問等はありませんか。
(意見なし)

議 長 意見も無いようですので、議案第10号について承認される方の挙手を求めます。
(委員挙手)

議 長 全員挙手です。よって、議案第10号は原案どおり承認することに決定されました。

議 長 日程第4、議案第11号「農地法第4条の規定による許可申請について」を上程し、議題と致します。
議案第11号について、事務局より提案理由の説明を求めます。事務局。

事務局 議案の6ページをお願いします。

議案第11号、農地法第4条の規定による許可申請について
次のとおり許可申請があったので審議を求めます。

令和4年3月10日提出 宇城市農業委員会会長 中山秀光

農地法第4条の規定による許可申請について、農地法関係事務処理要領の第4の1の(4)のアの規定により、意見を決定するため審議を求めます。以上です。

議 長 それでは、各委員から案件について説明及び現地調査報告をお願いします。致します。調査報告にあたっては、省略することなく他の委員にも状況が解るように説明をお願いします。

申請番号1番及び2番は、 不知火3 早川委員に代わり
まして、4番 坂下委員より
申請番号3番は、 松橋1 中塘委員に代わり
まして、8番 山田委員より
申請番号4番及び5番は、 豊野2 川端委員に代わり
まして、12番 城塚委員より
それぞれ説明を求めます。

坂下委員 申請番号1番について説明致します。詳細は記載のとおりです。太陽光発電施設の設置に伴う農地転用です。場所は〇〇〇〇の△△地区の中心部に位置し、〇〇神社より東に〇〇メートルのところであり、申請人

の自宅の目の前にある土地です。排水同意、隣接同意も取られており、何ら問題はないと思われます。

続いて**申請番号 2 番**について説明します。営農型太陽光発電施設の設置に伴う農地一時転用です。〇〇〇〇の△△地区の中心部より北西に〇〇〇メートル程行った中山間地域にある土地です。現在は柑橘を栽培されておりますが、収益性の非常に低い土地ということで、営農型太陽光発電施設を設置することになりました。ちなみに施設の下ではミョウガを栽培するという事です。排水同意、隣接同意も取られており、何ら問題はないと思われます。ご審議よろしくお願ひします。以上です。

山田委員

申請番号 3 番について説明致します。詳細は記載のとおりです。申請理由が寄宿舍の建設ということす。場所は〇〇〇〇になります。排水同意も取られておりますので、何ら問題ないと思ひます。以上です。

城塚委員

申請番号 4 番と 5 番については申請人が同一ですので、同時に説明致します。詳細は記載のとおりです。4 番の場所は県道〇〇〇〇線沿いになっています。5 番は 4 番から山間に〇分入ったところになります。今回の申請にあたって、県道の〇〇工事に伴ひまして、手狭になるということす 5 番を資材置場として申請がありました。排水同意、隣接同意もあり支障はないかと思われます。現況は写真のとおりでございます。始末書添付となっております。審議方よろしくお願ひします。

議 長

ここで事務局より、案件について農地転用許可の検討事項について説明をお願ひします。事務局。

事務局

それでは、農地法に基づく農地転用許可の検討事項について説明を申し上げます。転用目的等につきましては、先ほど委員から報告がありましたとおりです。

申請番号 1 番及び 5 番は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地に該当し、農地区分は第 2 種農地と判断されますので、転用は可能であると思われます。

申請番号 2 番は、農用地区域内にある農地ではありますが、継続して農業を営まれ、10 年間の一時転用となります。また農業振興地域整備計画の達成に支障を及ぼすおそれがないと認められることから、例外的に許可は可能であると思われます。

申請番号 3 番は、〇〇〇〇から 300m 以内の農地に該当し、農地区分は第 3 種農地と判断されますので、転用は可能であると思われます。

申請番号 4 番は、10ha 以上の規模の一団の農地の区域内にある第 1 種農地ではありますが、集落に接続して転用されるものであり第 1 種農地の不許可の例外に該当し、転用は可能であると思われます。以上です。

議 長 只今、申請番号1番から5番につきまして、各委員よりそれぞれ説明がありましたが、案件について何か質問、ご意見はありませんか。発言がある方は挙手の後、指名を受けて、起立をして発言をお願い致します。

議 長 何か質問等はありませんか。
(意見なし)

議 長 意見も無いようですので、議案第11号について承認される方の挙手を求めます。
(委員挙手)

議 長 全員挙手です。よって、議案第11号は原案どおり承認することに決定されました。

議 長 日程第5、議案第12号「農地法第5条の規定による許可申請について」を上程し、議題と致します。
議案第12号につきまして、事務局より提案理由の説明を求めます。事務局。

議 長 議案の8ページをお願いします。
議案第12号、農地法第5条の規定による許可申請について次のとおり許可申請があったので、審議を求める。
令和4年3月10日提出 宇城市農業委員会会長 中山秀光

農地法第5条の規定による許可申請について、農地法関係事務処理要領の第4の1の(4)のアの規定により、意見を決定するため審議を求める。以上です。

議 長 それでは、各委員から案件について説明及び現地調査報告をお願いします。調査報告にあたっては、省略することなく他の委員にも状況が解るように説明をお願い致します。

申請番号1番は、	4番 坂下委員より
申請番号2番は、	5番 澤村委員より
申請番号3番及び4番は、	不知火2 村嶋委員に代わりまして、5番 澤村委員より
申請番号5番及び6番は、	7番 本崎委員より
申請番号7番は、	松橋1 中塘委員に代わりまして、8番 山田委員より
申請番号8番は、	松橋2 村田委員に代わりまし

申請番号 9 番及び 10 番は、

申請番号 11 番は、

申請番号 12 番は、

申請番号 13 番は、

申請番号 14 番は、

それぞれ説明を求めます。

て、7 番 本崎委員より

松橋 3 河野委員に代わりまし

て、6 番 本郷委員より

10 番 坂本委員より

9 番 川村委員より

11 番 吉田委員より

13 番 本田委員より

坂下委員

申請番号 1 番について説明します。詳細は記載のとおりです。申請理由は駐車場となっています。場所は〇〇〇〇より〇〇方面に〇〇〇メートル程行った右手になります。この近くに〇〇〇を開くにあたり、駐車場がないための今回の申請となっています。総会資料を見てもらうと、事前に整地をされているため、始末書添付となっています。排水同意も取られています。ご審議お願いします。以上です。

澤村委員

申請番号 2 番です。前回盛土をして畑にするという申請で許可が下りていたのですが、今回新たに宅地分譲ということで〇戸ほど建てるという申請で上がってきています。〇〇〇から〇〇〇メートルほど東へ入った住宅街の中にある農地です。まわりの排水同意も含めて、隣接同意も揃っておりますので問題ないと思われま。よろしくご審議お願いします。

申請番号 3 番と 4 番ですけれど、〇〇〇〇から南の方に〇〇〇メートルくらい行った〇〇川の堤防沿いの農地です。この土地だけが住宅の中に 1 枚だけ残っているという状況の農地でした。埋め立てが終わっておりますので、始末書添付になっております。申請事由は個人住宅と通路です。排水同意、隣接同意もありますので、問題はないと思ひます。ご審議よろしくお願いします。

本崎委員

申請番号 5 番について説明を致します。詳細は記載のとおりです。場所は〇〇となります。この申請は個人住宅の建設ということ。申請人が孫に土地を貸すということになっております。隣接同意、排水同意もついております。問題はないと思ひます。よろしくご審議お願い致します。

続きまして申請番号 6 番について説明を致します。この申請は以前、建て主が納屋を建てられたときに、その一部に農地があったということが今分かったということ。始末書添付して今回の申請となっております。排水同意もあり問題はないと思ひます。よろしくご審議お願い致します。

吉田委員

申請番号 13 番についてです。これはお父さんが〇〇年前に転用しておらずに家を作られ、その後お父さんが亡くられました。譲渡人と譲受人は兄妹にあたり、この際ちゃんとしておくために申請されました。今回現場にも行って確認しております。詳細はご覧のとおりです。審議方よろしくお願ひします。

本田委員

申請番号 14 番についてご説明します。詳細は記載のとおりです。転用目的は事務所・倉庫及び建設資材置場になります。場所は〇〇〇〇から北へ〇〇〇メートルくらいの場所になります。譲受人は自宅に事務所を置き、〇〇工事等の建設業を営んでいますが、現在の場所が手狭になったため、申請地を譲り受けるための申請です。事前着工の始末書も出されており、排水同意、隣接同意もあり支障はないと思われまひ。審議方よろしくお願ひします。

議 長

ここで事務局より、案件について農地転用許可の検討事項について説明をお願ひします。事務局。

事務局

それでは、農地法に基づく農地転用許可の検討事項について説明を申し上げます。転用目的等につきましては、先ほど委員から説明がありましたとおひです。

申請番号 1 番及び 3 番から 6 番、9 番、10 番、12 番、13 番は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地に該当し、農地区分は第 2 種農地と判断されますので、転用は可能であると思われまひ。

申請番号 2 番及び 7 番、8 番は、都市計画法に規定する用途地域が定められた農地に該当し、第 3 種農地と判断されますので、転用は可能であると思われまひ。

申請番号 11 番は、10ha 以上の規模の一団の農地の区域内にある第 1 種農地ではありますが、集落に接続して転用されるものであり第 1 種農地の不許可の例外に該当し、転用は可能であると思われまひ。

申請番号 14 番は、〇〇支所から 300m 以内の農地に該当し、農地区分は第 3 種農地と判断されますので、転用は可能であると思われまひ。以上です。

議 長

ただ今、申請番号 1 番から 14 番について各委員よりそれぞれ説明がありましたがい、案件について何か質問、ご意見はありませんか。発言がある方は挙手の後、指名を受けて、起立して発言をお願ひします。

田口委員

はい。

議 長

はい、田口委員。

田口委員 田口です。申請番号 10 番の〇〇〇平方メートルに対して崖があるということで、〇〇〇平方メートルくらいの崖があるという状況ですか。

議 長 事務局お願いします。

事務局 事務局からお答えします。崖地、危険地合わせまして〇〇〇平方メートルです。元の〇〇〇平方メートルから〇〇〇平方メートルを引きまして、有効面積が△△△平方メートルとなっております。
法面・崖面がそれだけあるということです。以上です。

議 長 田口委員いいでしょうか。

田口委員 はい。それからこの場合、申請理由が個人住宅と資材置場ですが、用途としては個人住宅と事業者であれば資材置場で別に申請するべきではないのでしょうか。

議 長 はい、事務局お願いします。

事務局 事務局の方よりお答えします。申請理由につきまして個人住宅と資材置場となっております。申請書の中に事業計画書というのがありまして、そのなかで計画を立ててあるのと同時に、配置図も付けていただいております。その中に個人住宅部分と資材置場部分をはっきりと記載してあります。以上です。

議 長 田口委員いいでしょうか。

田口委員 計画書としては、図面上に線引きはしてあると思いますが、それが終わってしまえば 1 筆で登記されると思うのですが、事業的に使えばそれで申請するべきではないのかと思いますが、そこはどうでしょうか。

議 長 事務局からお願いします。

事務局 今の件について、事務局よりお答えします。住宅の面積としては概ね 500 平方メートルまでと決まっていますが、事業用面積につきましては必要な分だけ、利用する分だけの許可が可能となっております。いま現在の申請につきましては、資材置場がこれだけ必要ということで、図面上・計画上で書いてありますので、その必要分と認められることで申請をあげられています。今回上程しているということになります。

今回の場合は個人事業主ということで〇〇工事業を営んでいる方の申請となっております。個人住宅で事業をしておれば、どこまでもいける

というような確認が必要というニュアンスだったと思いますが、今後も事業計画書ではっきりと確認しながら申請を受付け、上程をしていきたいと思います。以上です。

議 長 田口委員いいでしょうか。

田口委員 はい。

議 長 他に何か質問等ありませんか。
(意見なし)

議 長 意見も無いようですので、議案第 12 号について承認される方の挙手を求めます。

(委員挙手)

議 長 全員挙手です。よって、議案第 12 号は原案どおり承認することに決定されました。

議 長 日程第 6、議案第 13 号「農業経営基盤強化促進事業の実施に伴う宇城市農用地利用集積計画の決定について」を上程し、議題と致します。
議案第 13 号について、事務局より提案理由の説明を求めます。事務局。

事務局 議案の 12 ページをお願いします。

議案第 13 号、農業経営基盤強化促進事業の実施に伴う宇城市農用地利用集積計画の決定について
次のとおり農用地利用集積計画案について審議を求める。

令和 4 年 3 月 10 日提出 宇城市農業委員会会長 中山秀光
基盤強化法第 18 条第 1 項の規定による農地利用集積計画について、基盤強化法の基本要綱の第 9 の 3 の(1)の規定により、農用地利用集積計画案を決定するため審議を求める。以上です。

議 長 議案の 26 ページの個人間での貸借権設定の申請番号 28 番につきましては、吉田委員の親族の案件になりますので、後ほど審議致します。議案の 12 ページから 37 ページまでの個人間での貸借権設定の申請番号 1 番から 27 番、29 番から 48 番、議案の 38 ページの個人間での使用貸借権設定の申請番号 101 番、議案の 39 ページから 54 ページまでの農業公社を通じた貸借権設定の申請番号 201 番から 230 番、議

案の55ページの農業公社を通した使用貸借権設定の申請番号301番については、各委員に送付しておりました総会議案により確認してきておられると思いますので案件ごとの説明は割愛させていただきます。

それでは、議案の56ページから59ページまでの所有権移転の申請番号401番から407番について、事務局より説明を求めます。

事務局

議案の56ページです。
今月は、農業公社からの買い取りが2件、売り渡しが5件です。
面積は、7件中、田が11,390㎡、畑が1,853㎡、合計が13,243㎡です。
売買価格は総会議案記載のとおりとなっております。
ご審議方よろしくお願い致します。

議 長

それでは、貸借権設定の申請番号1番から27番、29番から48番、201番から230番、使用貸借権設定の申請番号101番及び301番、所有権移転の申請番号401番から407番について、何か質問、ご意見はありませんか。発言がある方は挙手の後、指名を受け、起立して発言をお願いします。

議 長

何か質問等ありませんか。
(意見なし)

議 長

意見もないようですので、議案第13号の貸借権設定の申請番号1番から27番、29番から48番、201番から230番、使用貸借権設定の申請番号101番及び301番、所有権移転の申請番号401番から407番について、承認される方の挙手を求めます。
(委員挙手)

議 長

全員挙手です。よって議案第13号の貸借権設定の申請番号1番から27番、29番から48番、201番から230番、使用貸借権設定の申請番号101番及び301番、所有権移転の申請番号401番から407番は、原案どおり承認することに決定されました。

議 長

つづきまして、貸借権設定の申請番号28番は吉田委員の親族の案

件になりますので、会議規則第12条の規定により、ここで退席を求めます。

(吉田委員退席)

議 長 それでは、審議を致します。本案件につきましては、各委員に送付しておりました総会議案により確認してきておられると思いますので説明は割愛させていただきます。

議 長 それでは、貸借権設定の申請番号28番につきまして、何か質問、ご意見はありませんか。発言がある方は挙手の後、指名を受け、起立して発言をお願いします。

(意見なし)

議 長 何か質問等ありませんか。

議 長 意見も無いようですので、貸借権設定の申請番号28番について承認される方の挙手を求めます。

(委員挙手)

議 長 全員挙手です。よって、貸借権設定の申請番号28番につきまして、原案どおり承認することに決定されました。審議が済みましたので吉田委員の入室を求めます。

(吉田委員入室)

議 長 これで議案第 13 号の全ての案件の審議が終了し、原案どおり承認することに決定されました。

議 長 日程第7、議案第14号「空き家に付随した農地の指定申請について」を上程し、議題と致します。

議案第14号について、事務局より提案理由及び詳細説明を求めます。事務局。

事務局 議案の 61 ページをお願いします。
議案第 14 号、空き家に付随した農地の指定申請について

空き家に付随した農地の指定申請がありましたので、農業委員会の意見を求める。

令和4年3月10日提出 宇城市農業委員会会長 中山秀光

提案理由、「宇城市登録空き家に付随する農地の別段の面積の取扱基準第4条第1項の規定により、農業委員会の議決が必要である。

続いて詳細について説明させていただきます。

この空き家に付随した農地指定申請書が提出された際は、総会での承認を経て公示する必要がありますので、本日皆様にお諮りするものです。

審議番号1番は、畑が1筆で面積は〇〇〇㎡です。空き家の所在地は総会議案記載のとおりです。空き家バンクの登録日は令和〇年〇月〇日となっております。総会資料の後ろから3枚目の「空き家に付随した農地の指定」のページをご覧ください。

申請地は〇〇〇の現地検討会におきまして確認をされ、空き家に隣接し、現況は庭木が生えており、整地及び除草をすれば耕作できる状況にありますので、指定は可能であると思われれます。以上です。

議 長 只今、事務局より説明がありましたが、案件について何か質問、ご意見はありませんか。発言のある方は挙手の後、指名を受け、起立して発言をお願いします。

議 長 何か質問等ありませんか。
(質問なし)

議 長 意見も無いようですので、議案第14号について承認される方の挙手を求めます。
(委員挙手)

議 長 全員挙手です。よって議案第14号は、原案どおり承認することに決定されました。

議 長 日程第7、議案第15号「荒廃農地の農地・非農地の判断について」を上程し、議題と致します。
議案第15号につきまして、事務局より提案理由及び詳細説明を求めます。事務局。

事務局 議案の63ページをお願いします。
議案第15号、荒廃農地の農地・非農地の判断について
農地法第2条第1項に規定する農地に該当しないこと（非農地）の判断について農業委員会の意見を求める。

令和4年3月10日提出 宇城市農業委員会会長 中山秀光

提案理由、「農地法の運用について」第4の(3)に基づき、対象地が農地に該当するか否か、農業委員会の判断が必要である。

続けて非農地判断についてご説明を致します。

非農地の取り扱いにつきましては、「農地法の運用について」の第4の(3)の規定により、農地利用状況調等を踏まえ、対象地が農地に該当するか否かについて判断を行うこととされております。

また非農地の判断は「同運用について」第4の(4)において、農地として利用するには一定水準以上の物理的条件整備が必要な土地であって、農業的利用を図るための条件整備が計画されていない土地で、
ア その土地が森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的条件整備が著しく困難な場合

イ ア以外の場合であって、その土地の周囲の状況からみて、その土地を農地として復元しても継続して利用することができないと見込まれる場合

の、いずれかに該当するものは、農地に該当しないものとし、これ以外のものは農地に該当するものと定められております。

全筆ではありませんが今日お配りしてます総会資料へ、現況確認の際の写真を添付しておりますのでご確認頂くとわかりますように、今回の〇〇〇の32筆、38,882㎡の土地は、担当の農業委員及び農地利用最適化推進委員の現地調査において、現況が雑木等の立木や竹等が生育し「山林」の様相をしており、「農地法の運用について」第4の(4)の基準に基づき「農地に該当しない」と判断される土地です。

次に補足になりますが、昨年も少しご説明を致しましたが再度、非農地化に至るまでの流れを説明させていただきます。

毎年夏頃に委員の皆さんにご協力を頂いております、利用状況調査等を基に本年度は過去、数年間再生利用が困難な農地と判断された農地を対象として、経済部など関係部局の事業に支障がないかの確認を行い、支障がないと判断された農地につきましては、航空写真等で確認を行い、その結果、山林化がすすんでいる〇〇〇を今年度、対象とすることに致しました。

農地所有者等へは、事前に非農地判断の現況確認を行うことと、非農地化にあたっての今後の予定についての通知を送付し、その後、地元委員と事務局職員とで現況調査を行っております。結果としましては、先ほど申し上げましたように雑木等が生育し山林化が進んでおりましたので、本日の総会にて審議頂くことになった次第です。

次に今後についてですが、本日、非農地化が承認されました農地所有

者等へは、近日中に非農地通知書を送付する予定であります。所有者等は、この通知書をもって法務局で地目変更手続きが可能となります。

また、関係機関であります、市税務課、法務局、県へは非農地通知一覽を送付し、事務局におきましては農地台帳の整理を行い、今後は非農地として取り扱うこととなりますので、農地法の規制の対象外となります。以上で説明を終わります。

議 長 それでは案件について。何か質問、ご意見はありませんか。発言のある方は挙手の後、指名を受け、起立して発言をお願い致します。

議 長 何か質問等はありませんか。

澤村委員 はい。

議 長 はい、澤村委員。

澤村委員 確かにどこの町村でも考えられる状況ですけど、結局は後継者がいなか耕作してもそれだけの経済的な効果とか利益が上がらず、これは今だけの問題ではなくて、これからはもっと大きいと思います。こういう状況が進んでいくときに、今後どういう考え方を、こういう風にならないようにするか考えなければなりません。農業委員会だけの問題ではないと思いますけれど、何らかの対策・方向を宇城市としても考えなければならぬと思います。国内生産の自給率が30数パーセントと言っています。食料が足りないという状況にはなっていないのですが、今の人口が80億になった時に、本当にそういう状況があるんだということは、我々が農業をやっていると感じていません。将来的に考えると、確かに後継者・作り手がいないため、何か考えないとこれからどんどん進んでいくため、私たちの考え方として行政を含めて打診しながら行かねばならないと思っています。

議 長 ご意見ありがとうございました。補足的に何か事務局はありませんか。

事務局 特にはございませんが、澤村委員が今おっしゃった意見は、そのとおりだと私は思います。今後、宇城市内の高齢化・後継者不足は進んでいくかと思われまので、それに伴い荒廃農地も増えていくかと思われまので、いま言われましたように農業委員会だけでは、出来ない部分が多いかと思われまので、他部局と連携を行いながら宇城市でできるような対策を取っていく必要があるかと思われま。以上です。

事務局長 はい。

議 長 はい、事務局長。

事務局長 事務局から補足致します。澤村委員から先ほどご意見いただいたことは令和3年3月の総会でもご意見いただきました。農業委員会では荒廃農地等の対策につきましては、農地利用状況調査等で明確にして台帳を整備するということと、後は農政課の方で荒廃農地の解消事業の補助事業等も使いながらやっているという現状です。全国的に見て、荒廃農地これは農家の高齢化・後継者不足・土地持ち非農家ということで増えている現状でございます。これはすぐに効果が出てくる事業ではありませんが、先ほど申し上げましたような事業で少しずつでも減らしていくという考え方で、本市としては進めていきたいと思っています。以上です。

議 長 澤村委員、いいでしょうか。

澤村委員 はい。

議 長 他に何か質問等はありませんか。
(意見なし)

議 長 意見も無いようですので、議案第15号について、承認される方の挙手を求めます。
(委員挙手)

議 長 全員挙手です。よって、議案第15号につきまして原案どおり承認することに決定されました。

議 長 日程第8、議案第16号「宇城市非農地証明事務取扱要領の制定について」を上程し、議題と致します。

議案第16号について、事務局より提案理由の説明を求めます。事務局。

事務局 議案の66ページをお願いします。

議案第16号、宇城市非農地証明事務取扱要領の制定について

宇城市非農地証明事務取扱要領の制定について、農業委員会の意見を求める。

令和4年3月10日提出 宇城市農業委員会会長 中山秀光
提案理由、宇城市非農地証明事務取扱要領を定めるため、農業委員会の議決が必要である。

続けて詳細説明を致します。

現在におきましては、県の非農地証明事務処理要領に基づき、非

閉 会

以上で本日の日程は全て終了致しました。

これをもちまして、令和4年第3回宇城市農業委員会総会を閉会致します。慎重なご審議、ありがとうございました。

(午後3時14分) 職務代理者による起立、礼。